

今こそ地域支え合い!!

住み慣れた地域で元気で暮らしていくために

【編集・発行】 社会福祉法人栗原市社会福祉協議会 築館支所 電話 23-8087 FAX 22-6012

栗原市社会福祉協議会は、今年度、栗原市から「生活支援体制整備事業第2層運営等業務」を受託しました。日常生活圏域（旧町村単位）10ヶ所に「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、住民主体の「地域が元気になるための話し合いの場」となる「協議体」の設置・運営を行ってまいります。

本事業は「地域における支え合い体制づくり」をめざしており、これまで、栗原市社会福祉協議会が支部や地区社会福祉協議会とともに地域の実情に応じて展開してまいりました「地域づくり」や「地域の支え合い」と目指す方向性は同様と捉えます。栗原市と連携し、高齢者や障害がある方などへの生活支援の確保や介護予防の体制整備に向けてより一層取り組んでまいります。市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

生活支援体制整備事業って なに? —



この事業は、2025年度をめどに、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けることができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」の一体的な提供体制「地域包括ケアシステム」の構築をめざすものです。

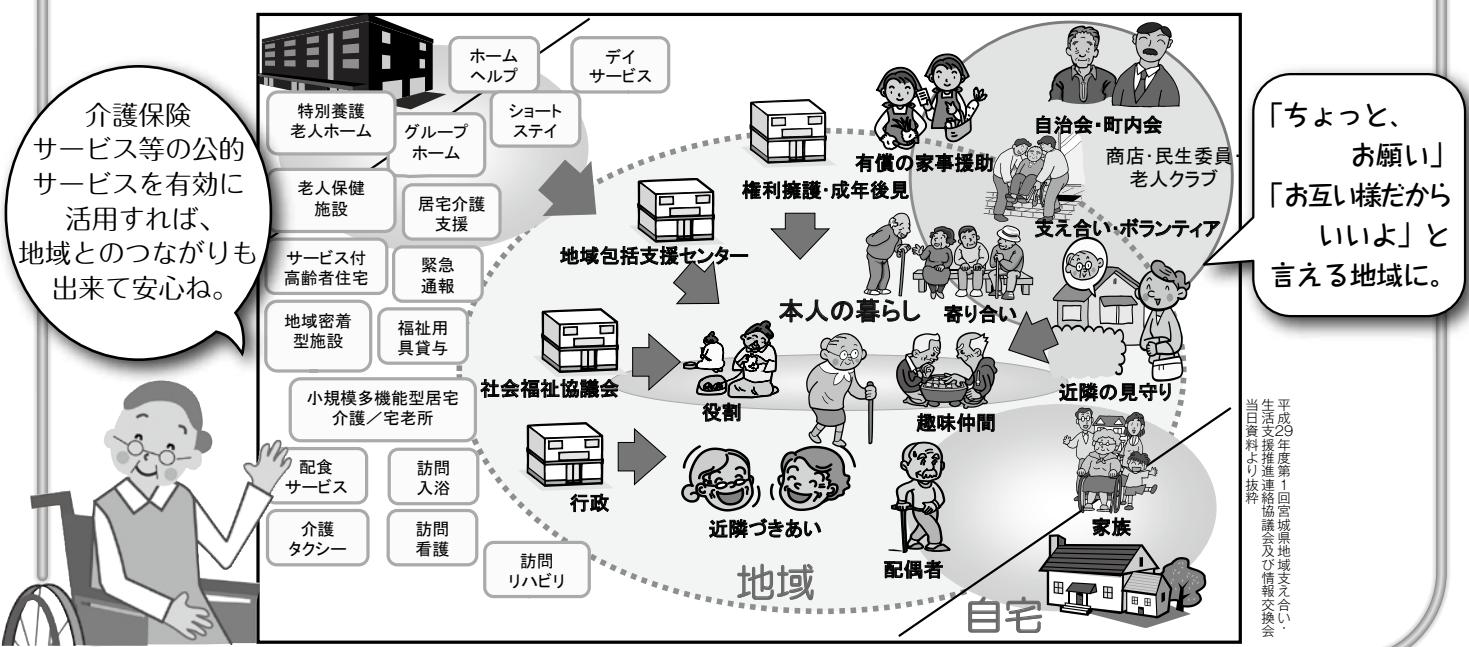
保険者である市町村が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化、高齢者の社会参加の推進を図っていくことを目的とします。地域の特性に応じ、「地域における支え合い体制づくり」に取り組んでいく事業です。

◆介護保険が制度化される前は・・・
わずかな介護サービスしかなかったが、地域の中で支え合う様々なつながりがあった。

現在

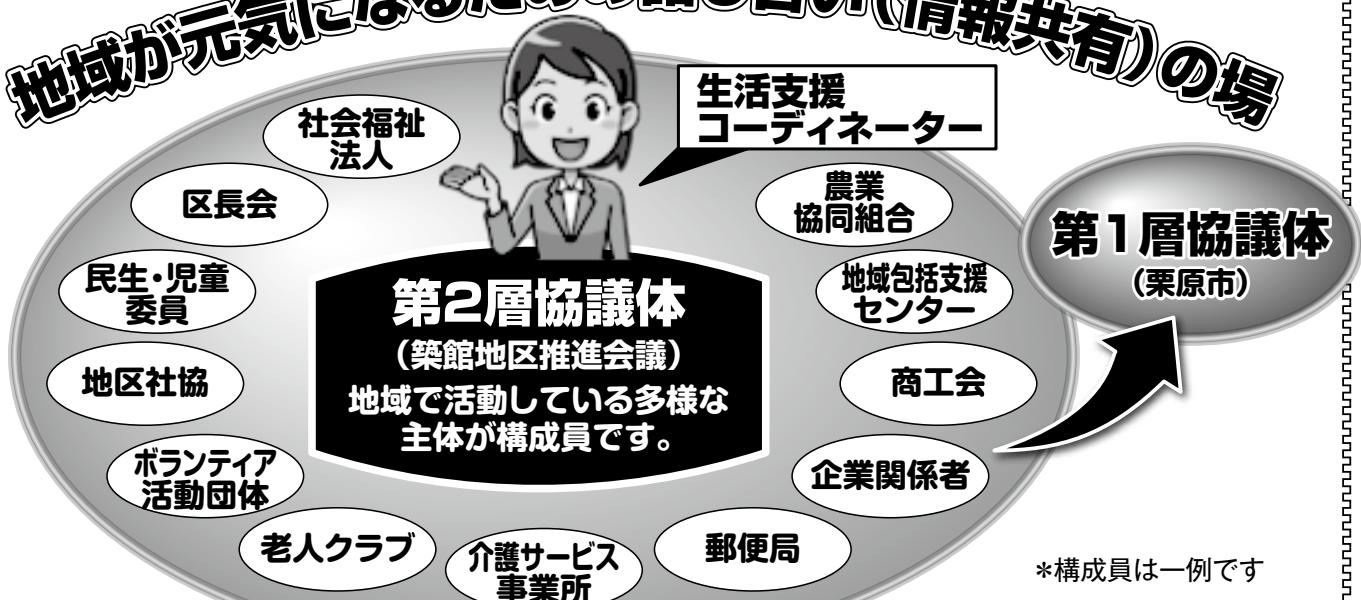
◆介護保険制度やサービスが充実・・・
利用者の利便性は向上した一方、個別支援が増加し地域とのつながりが希薄化。

【平成27年度介護保険法改正】 ⇒ 5年後も10年後も住み続けられる地域にするためには
「住民も専門職もみんなで 支え合える地域に」



協議体ってなに?

地域が元気になるための話し合い(情報共有)の場



*構成員は一例です

⇒ 地域包括ケアシステム構築をめざし、住民が主体となり、多様なメンバーが集まり、互いに知恵を出し合い、地域で取り組んでいる活動や無理なく今できることなどをみんなで話し合う仕組みです。

～第2層協議体 10月設置に向けて!～

栗原市は、協議体を「地域支え合い推進会議」として、第1層（市域全体）を平成29年8月に設置しました。第2層の設置・運営は、栗原市社会福祉協議会が受託し、今年度中に10地区設置し、運営してまいります。

筑館地区では、栗原市社会福祉協議会筑館支部の協力をいただきながら、現在、10月設置に向け、準備を進めているところです。

誰もが安心して暮らし続ける
地域づくりのために
何ができる？



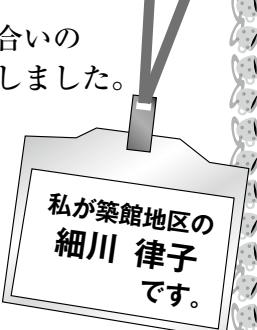
わいわい、がやがや話をしよう！

生活支援コーディネーターってなに?

地域にある人と人とのつながりや、支え合い活動（お宝）を把握し、新たな支え合いの推進役となります。栗原市は、日常生活圏域（旧町村単位）に1名ずつ10名を配置しました。

気軽に集まれる話し合いの場を通じて、支え合いのまちづくりを進めてまいりましょう。ご協力をお願いします。

「一緒に宝さがし!!
地域へお邪魔します。」



この『栗原市地域支え合い情報誌』は、これまで何気なく行われてきた地域の支え合い活動を紹介すると共に地域づくりにつなげていくものです。